

## 越上山登山

12月2日、埼玉県越上山の登山に参加させて頂いた。今回の登山は2回目だったので前回に比べて落ち着いて登山に参加できた。前回は山梨県だったので高速バスで長い時間をかけていったけれど、越上山は西武池袋線で吾野駅まで一本で1時間程度だったので楽に目的地に着けた。参加者の方は知っている方も多く、名前も覚えていてくれる方もいたので初めからリラックスできて取り組めた。今回の登山はただ山に登るだけでなく清掃しながらの登山だった。2班に別れ、私は1班になった。1班には2人の盲の方がいてIさんはとても寒い日だったのに半袖でみんな驚いていた。

まず顔振峠を目指した。顔振峠とは昔、義経と弁慶がこの峠を越えた時にあまりにも綺麗な景色だったので何度も振り返ったのが由来だとMさんに教えていただいた。ちょうど紅葉が綺麗な季節だったのでみんなで歓声をあげながら登山した。前回も思ったことだがMさんのサポートをして、全然力を入れずに私の鞆をおさえていることに再び驚いた。話を聞くと、少しでも上下したり左右に動いたり、岩に登っていることまで分かるのだそう。歩いていると、私たちが気づかない程の小さな声で小鳥が鳴いていてもすぐ分かっていた。健常者が目に頼っているぶん、見ることに意外にとても敏感でいるのだと分かり驚いた。Mさんはもとは目が見えていたのだが少しずつ見えなくなり視覚を失ったのだそう。けれどアルプの会に入って山に登ることで楽しみが増えたらしい。

見晴台に着いてお昼を食べた。天気もよかったので遠くまでよく見え素晴らしい眺めだった。お弁当を忘れた私にみんなお弁当を分けてくれた。本当にやさしい方ばかり。

そして越上山を目指した。頂上付近は足場がとても悪く、サポートしながら歩くのはすごく神経を使い、どうすれば歩きやすいように伝えるかが一番大変で、一人で登る何倍も疲れてしまった。最後の岩場は本当に難しくサポートはできなかった。山頂で記念写真を撮って下山した。それから何度も登ったり下ったりの繰り返しでみんなとてもつかれてしまったが無事、東吾野駅まで到着した。

2回のアルプの会の登山に参加して、いままで知らなかった体験をすることができた。盲の方とあまり話したこともなかったので身近のことに感じられるようになり、ほんの少しだけれど気持ちが分かったような気がした。こういうアルプの会のような活動は障害者の方にとって世間との繋がりにもなるし、楽しみの一つにもなる大切な活動だと感じた。私は他にこういう活動があるのかあまり知らないが、知らないことを教えあえるということは、私達にとっても必要なことであると思うのでもっとこのような活動が増えればいいと思った。